

第 29 回コンシューマーズカフェのご案内

「知っていますか?身近に使われているナノセルロース～新技術をめぐるコミュニケーション」

残暑の中に秋の気配を感じるこのごろです。

くらしとバイオプラザ 21 では、第 29 回コンシューマーズカフェを 2019 年 11 月 8 日に行うことになりました。

今回は、産業技術総合研究所 材料・化学領域 研究戦略部 上席イノベーションコーディネータ 平田悟史先生をお招きします。ナノセルロースとは、植物の細胞壁の主成分であるセルロースをナノレベルまで細かく解きほぐしたものです。スピーカーの振動版やお掃除シート、反発性を利用して卓球ラケットや靴のシート、どら焼きにしっとり感を付与する食材など、多様な特性を生かし、広く利用されています。植物、微生物由来なので再生可能資源としても注目されています。ナノセルロースフォーラム事務局長でもある同氏より、この素材を利用する目的、利用の現状、展望や課題などについてご紹介いただきます。新しい技術が社会にソフトランディングするためには、どのような考え方や仕組みが必要か、参加者全員で考え、話し合ひましょう。どうぞ、お誘い合わせの上、お出かけください。ご参加お申込みをお待ちしています。

日時： 2019 年 11 月 8 日（金） 13:30～15:30

場所： くすりの適正使用協議会 会議室

（東京都中央区日本橋小網町 12-7 日本橋小網ビル 3F）

<https://www.rad-ar.or.jp/council/access/index.html>

地下鉄日比谷線 人形町駅 A6 出口から 7 分、茅場町駅 1 番出口から 7 分。

プログラム：

13:30～ 開会

13:40～ 「知っていますか?身近に使われているナノセルロース～新技術をめぐるコミュニケーション」

《講師》国立研究開発法人 産業技術総合研究所

材料・化学領域 研究戦略部 上席イノベーションコーディネータ 平田悟史 先生

14:40～ 質疑応答

15:30 閉会

参加費：くらしとバイオプラザ 21 会員（正会員および協力会員）は 500 円、非会員は 1,000 円
（資料代・ドリンク代。当日、会場にて集めさせていただきます。）

参加申込み：申込み先着 15 名。ご参加希望者は mail または FAX にて、「第 29 回コンシューマーズカフェ参加希望」と明記し、①住所（電話番号、ファックス、E-mail）、②氏名、③ご所属を記入しお申し込み下さい。お申込み受け付け mail か FAX が 3 日以内にくらしとバイオから届かない時はご連絡下さい。

申し込み/問い合わせ先：くらしとバイオプラザ 21 事務局 担当 佐々・田中

〒103-0025 中央区日本橋茅場町 3-5-3 日宝茅場町ビル 8 階

tel 03-5651-5810

fax 03-3669-7810

E-mail bio@life-bio.or.jp

（当日 12:30 以降のご連絡は 090-8512-7944 まで）

第 29 回コンシューマーズカフェ参加申込み書

FAX 03-3669-7810 E-mail bio@life-bio.or.jp

コンシューマーズカフェ 2019 年 11 月 8 日に参加申込みをします。

年 月 日

フリガナ 氏 名	
連絡先（初参加の方のみご 記入下さい）	tel/fax
	E-mail
ご所属（初めての方のみご 記入下さい）	
その他 連絡事項	

今までに開催されたコンシューマーズカフェ

- 第 1 回「消費者庁における情報の一元化の現状と課題」全国消費者団体連絡会 事務局長 阿南 久さん
- 第 2 回「健康食品の問題点と今後のあり方」(独) 国民生活センター商品テスト部調査役 宗林さおりさん
- 第 3 回「今、問われる消費者の役割」コープこうべ参与 伊藤潤子さん
- 第 4 回「農薬、放射性物質の基準はどう決めるのか」日本獣医生命科学大学鈴木勝士さん、コプネット太田憲治さん
- 第 5 回「食のリスクコミュニケーションの実践～食品安全委員会の活動から」食品安全委員会委員長 小泉直子さん
- 第 6 回「食品表示から考える」日本生活協同組合連合会 安全政策推進室 室長 鬼武一夫さん
- 第 7 回「フーコムネット設立 1 年～科学的な食情報を消費者に届ける苦闘を振り返る」科学ライター 松永和紀さん
- 第 8 回「食品安全委員会の明日～BSE 対策の見直しを含め」内閣府食品安全委員会事務局長 姫田尚さん
- 第 9 回「GM作物の誤解」毎日新聞社 小島正美さん
- 第 10 回「これからの農業と食料について考える」宮城大学食産業学部フードビジネス学科教授 三石誠司さん
- 第 11 回「食品の機能性表示のこれから～グローバルな視点から考える」グローバルニュートリション顧問 高橋迪雄さん
- 第 12 回「不安の構造 リスクコミュニケーションはなぜ失敗するのか？」食の安全・安心財団理事長 唐木英明さん
- 第 13 回「遺伝子組換え技術の食品および食品添加物への安全性確保」明治大学農学部教授 中島春紫さん
- 第 14 回「新しい育種技術（NBT）をどうとらえるのか」農林水産省技術安全室室長 鈴木富男さん
- 第 15 回「遺伝子組換え作物・食品の安全性確認」東京農工大学教授 小関良宏さん
- 第 16 回「機能性表示食品制度が始まって」グローバルニュートリショングループ代表取締役 武田猛さん
- 第 17 回「食の安全～地方衛生研究所、食品安全委員会、クドア」川崎市健康安全研究所長 岡部信彦さん
- 第 18 回「新規技術のリスクにどう向き合うか」東京大学公共政策大学院 特任教授 岸本充生さん
- 第 19 回「機能性表示食品を評価して」消費者市民社会をつくる会（ASCON）代表理事 阿南久さん
- 第 20 回「食品の放射性物質のリスク～消費者意識調査からわかったこと」東京大学食の安全研究センター長関崎勉さん
- 第 21 回「食品表示の意味を考えよう～加工食品の原料原産地表示を中心に」消費生活アドバイザー 森田満樹さん
- 第 22 回「農業分野におけるゲノム編集技術とその規制をめぐる国内外の動き」名古屋大学教授 立川雅司さん
- 第 23 回「意外と知らない「学校給食」の真相」（株）菜友 プロダクトマネージャー 吉田達也さん
- 第 24 回「遺伝子組換え農作物の規制の動向と課題」農林水産省 消費・安全局 高島賢さん
- 第 25 回「科学技術の受容における市民の心理～放射線からゲノム編集まで」大阪学院大学 田中豊さん
- 第 26 回「ゲノム編集農作物をめぐる国内での規制について」筑波大学 教授 大澤良さん
- 第 27 回「食品表示に関する考え方」日本生活協同組合連合会 品質保証本部 中川英紀さん
- 第 28 回「3.11 から学ぶ放射能をめぐるリスクコミュニケーション」量子科学技術研究開発機構 小林泰彦さん